



▲平成3年、台風17号による災害(東立石)

備えは万全ですか？

…防災の日(9月1日)・

防災週間(8月30日～9月5日)

もし、震度7の大地震が発生したら…、大型台風で大洪水が起きたら…。あなたの備えは万全ですか？防災の基本は、自分の身は自分で守ること。しかし、守るべきものは、自分の身だけではありません。

家族、家、友人、そして愛するまち…。

それらを守るには、個人の防災対策はもちろん地域の住民が共に協力しあうことが大切です。

あらかじめ災害に対する家の備え、地域の備えを見つめ直してみましょう。

危険個所をチェック

大雨や台風があつたとき、あなたの家の周りは安全ですか？近くの川の洪水やがけ崩れなどの危険はありませんか？家の周りや近所を見回して、危険なところはないか、チェックしてみよう。

また、地域周辺ではどこが危険かチェックして、いざというときの避難場所などを確認しておきましょう。

自宅周辺では、窓や屋根、雨どいや側溝、外壁などを点検し、壊れているところがあれば早めに修理しましょう。

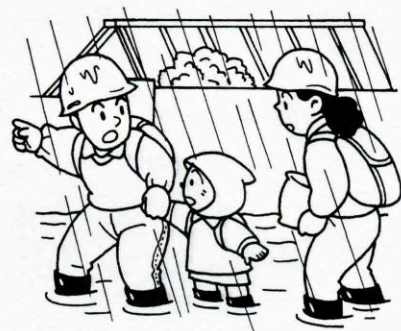


▲県と町で毎年実施する危険ため池パトロール

自分の身は自分で守る

災害時には、「自助」「互助」「公助」の3つの助けを必要とします。自分で自分を助けること、地域のひとひとの助け合い、そして行政からの支援です。

この中で一番の基本は、自



分で自分の身を助ける「自助」：個々の家庭での防災です。自分でケガをしたら、人を救助することもできません。災害時にケガをしないために、家庭での防災をしっかりとしておく必要があります。

家族で防災会議を

大きな災害はしばしば起きるものではありませんが、いざ災害が起こったとき、あわてず行動できるように、年に1度は家族で防災会議を開き、次のことについて確認しておきましょう。

- 避難ルートを歩いてみる
- 緊急時にどうやって連絡を取り合うか
- 避難するとき子どもやお年寄りの面倒を誰がみるか
- 避難するとき、誰が何をもち出すか
- 非常持出袋はどこに置くか

- 非常持出袋の中身の点検
- 家族の役割分担をどうするかなど

非常持ち出し品の例

- 食料・飲料水(3日分程度)
- 懐中電灯(予備の電池付き)
- 小型ラジオ(予備の電池付き)

- 貴重品類(預金通帳、印鑑、現金など)

- 応急救護医薬品

- マッチ、ライター、缶切り

- ローソク

- ナイフ

- 衣類・下着

- 毛布

- ロープ

- 運動靴

家族に病人や赤ちゃんがいる場合は、薬やおむつ、ミルクなどの備えもお忘れなく。みなさんの家庭では、どんなものが必要か、ぜひ話し合ってみてください。

